

まよめなかの

発行責任者
隠岐広域連合立
隠岐病院長
隠岐の島町城北町

産婦人科医師

二人体制始まる

―県と県立中央病院のご尽力で派遣始まる―

ご心配をおかけしていましたが、十月十六日、島根県立中央病院（以下、県中）から、倉田和巳先生が赴任され、二人診療体制がはじまりました。十一月からは船津先生に替わってもう一人の先生が県中から赴任されます。

もう一人の先生は当面のところ、一週間交代での派遣となります。

この二人体制については、離島での安全、安心なお産の為に、島根県及び県中の厚いご理解とご尽力があつて実現したものです。

県中の先生方においては、引き

続き厳しい医師不足の中、離島の医療を守ろうとの思いで赴任してくださいませ。十月十六日からは、分娩が正式にスタートしています。どうか安心して受診してください。

産婦人科外来診療

- 1 1月2日
森山政司
- 1 1月6日～10日
長谷川 明広 医師
- 1 1月13日～17日
吉野 直樹 医師
- 1 1月20日～24日
栗岡 裕子 医師



▲病院玄関前で、職員に見送られて

船津先生、

ありがとうございます

ございました。

～これからも、
どうぞお元気で～

隠岐の島で子供が生めないという窮状を知り、開業ま近の忙しい時期にも関わらず、静岡県富士市から隠岐島に赴任してくださった船津雅幸先生が、十一月一日、離島されました。

赴任早々、緊急手術があつたり、日中の診療のみならず、時間外の産婦人科救急にも活躍していただきました。

先生は短期間ながら、積極的に医局にとけこみ、隠岐病院中心スタッフとして産婦人科医療を支えて下さいました。また、隠岐病院の外からの目として、客観的な立場からみた隠岐病院というものを、隠岐の島町議会の方々にも講演していただき、院内外で活躍されました。

離任式の際、先生は、「私は去りますが、隠岐病院は永遠に続きます。隠岐病院スタッフは本土の病院のどこにもひけはとりません。自信をもって隠岐島の医療の発展のためにがんばってください」と一人一人の職員の手をとり、声をかけられました。

私たちも先生のお気持ちにこたえる為にも、より安全・安心の医療を提供できるようにがんばります。

先生のますますのご発展とご健康をお祈りいたします。

個人情報保護のため

申し訳ございません。
ここでは、お教え
できないんです。

患者さまを守る
ためです。



個人情報保護法の観点から、隠岐病院では以下のような対応
をしております。ご了承お願いいたします。

一、入院患者様に関する問 合わせについて

①「〇〇患者様は入院中だ
か」の問い合わせについて

個人情報保護の観点からお
断りさせていただいていま

す。直接ご家族にお尋ねくだ
さいますようお願いいたしま
す。

② 面会について

入院時に面会希望の有無と
面会者の範囲を患者様ご本人
及び家族の方から確認させて

いただいております。患者様
の同意の得られていない方の
面会はお断りさせていただい
ています。また、患者様の同
意が得られた方につきましても、
できるだけ家族の方に病
室等を確認の上、直接病室ま
でお越しのうえ面会時間の厳
守をお願いいたします。
尚、患者様の状態によって
は面会をお断りすることもあ
りますのでご了承下さい。

③ 入院患者様への電話取次ぎ
について

電話の取り次ぎにつきましては、
病棟内での通話はお断
りさせていただきます。た
だし、電話があったこ
とは患者様本人やご家族の方
にお伝えします。

④ 入院患者様の症状の問
合わせについて

電話での問い合わせにつ
きましては、原則お断りして
おります。ただし、ご本人及び
家族の了承が得られている特
別な場合には、対応いたしま
す。

二、外来患者様の呼び出し方 法について

① 初診の場合

初診時の診療申込書で受付、
診察、検査時の個人名での呼び
出しについて患者様の意思確
認を行わせていただきます。以
後は患者様の意思に沿った対
応をおこないますが、変更は自
由ですので医事受付まで申し
出ください。

② 再来の場合

再来患者様につきましても
同様の対応をいたしますので
遠慮なく申し出ください。

個人情報保護法

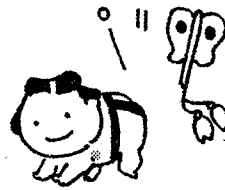
について

医療機関は大変重要な個
人情報を収集・保持してい
ます。患者様の個人情報
の漏洩がないような適正な管
理を行うとともに、患者様
ご本人及びご家族からの要
請があった場合、個人情報
の開示をすることが義務づ
けられました。

日本相撲協会より

浴衣生地（反物）の寄贈が

ありました



日本相撲協会より、隠岐病院関係者を激励するため、浴衣生地（反物）の寄贈の申し出がありました。

十月十六日、伊勢の海親方（元藤ノ川）はじめ、隠岐出身力士・福岡ほか六名の力士の方々が隠岐病院に訪れ、反物寄贈をうけました。この席には、長野助産院から転入院しお産されたばかりの日野さん、笠木院長、船津医師、看護部長、看護師長が出席しました。

またこの日から、島根県立病院より二人目の産婦人科医師を迎え、本格的な産婦人科診療を再開し、分娩も再開できることとなった日でありました。



▶伊勢の海親方より

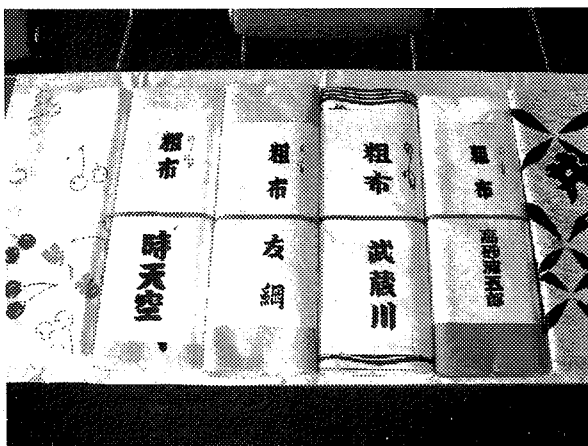
伊勢の海親方からは「大変おめでたい日に訪問することができましたことを嬉しく思います。少子化時代、島の皆さんが安心して子育てできる体制が整ったことを大変喜ばしいことと思います。総合病院で色々な患者さんがおられると思います

が、先生方のお力で島民の皆さんが安心して暮らせるように頑張ってくださいと思います



▲右端、隠岐出身の福岡

ます。昨日、相撲健康体操を島民の皆さんに体験していただいております。DVDを贈りますのでこれをしながら真似して、是非この病院でも健康に精進していただきたいと思います。」と激励の言葉をいただきました。今回頂いた、お相撲さんに縁のある浴衣生地（反物）は、この島で元気な赤ちゃんが育っていく、子供さんが元気に育っていくことを願って役立たせて頂きたいと思っております。



▶寄贈していただいた反物

大正琴演奏会

八月三十一日、十月十二日の両日、大正琴を演奏される吉山さまのご好意により演奏会が院内で開かれました。

みあげてごらん夜の星を（坂本九）、北国の春（千昌夫）、柔（美空ひばり）、北の宿から（都はるみ）、里の秋などだれも知っていて、口ずさみやすい曲を披露していただきました。

入院患者さまも短時間ではありましたが、大正琴の音色による癒しのひと時を過ごすことができましたと大変喜ばれていました。



▲大正琴を演奏している吉山さま

職場紹介 内科外来

看護師のお助けマンも加わり外来部門では一番の大所帯です。とここで大腸・胃カメラの検査が恐ろしくて思っている方

こんにちは！
今回は内科外来&内視鏡室の紹介をしたいと思えます。ご案内は年の割に若く見られる？張り切りすぎがたまにきずのE・Iがお届けします。
さて、私達の職場は笠木院長を頭に医師四名、看護師六名、医療事務一名、熟練内視鏡看護師二名と総勢十四名体制です。さらに四階病棟、他の外来科などからの



ませんか？最近でも「カメラ飲むやあならわしや検査はいいわ」なんて事を言われる方がおられました。でも、「今の隠岐病院の先生は、若くてやさしくて上手で、五分もあれば終わりま

すよ」と言っしてしぶしぶ検査された方も、「こいならうまいもんだ」といい笑顔で検査を終えることが大変多くなりました。変化の秘密をお教えしましょう。その一つとして私が目にす

るのは、すぐ先生がカメラ操作の練習をして技術を磨いている姿です。本当に患者様に負担をかけないように熱心にごんばっています。その二としては、音楽プラス応対でリラククスできる雰囲気づくりです。最近検査された方はおわかりでしょうけど、すごく好評ですよ。私も生まれて初めて隠岐病院で内視鏡検査しました。よかったです。

内視鏡室の隣で①、②、③と三科並んでいますのが、皆さんもご承知の内科外来です。正面玄関入ってすぐ左の患者様の出入りの激しいぎやかなところ。今まで受診された方もいらつしやるのではないでしょう。さて、近年この外来部門で変わったなと思われることがありません？新しい案内板？きれいな看護師？いや逆に建物の老朽化？実は患者様への呼び方なんです。これは私たち看護師達の中で生まれてきた案で、患者様を第一に考えてとのこと。からまずは呼び方から改めようとみんなを取り組んだものなんです。やっぱり「〇〇くん」、「〇〇さん」より「〇〇さま」の方が私たちの気持ちも病気でなんぎしてこられた方につくしたいって気持ちになれる一歩だと感

じました。ほかにも緊急医療のお話し、先生のエピソード、看護師飲会の様子などお話しは尽きないのですが、紙面の都合上それはまた次回の機会にて。最後になりましたが、どうしても診療待ち時間が長くなつてご迷惑をおかけすることがあると思えますけど、心がけているのは「安全で安心な医療のサービス」です。およばずながらこれからも隠岐の医療の一助としてがんばっていきます。どうぞこれからもお願いします。

お知らせです。十二月から月曜日の初診は高松医師、水曜日は角田医師に変更になります。

あてがき

老眼鏡を作りました。腰痛で受診すると筋肉の衰えと言われました。体がかなりさびついてきたようです。それにともなつて、どんどん臆病になっていく。二十代・三十代の頃は、怖いものは今よりずっと少なかったのに。心まで、さび付かせないようになんか縮こまる勇気を振り絞って、がんばらなきゃ！

今年の誕生日プレゼントは、シップ薬がいいS